

時代に合わせた働き手に選ばれるお店づくり

Nico..L Hair

緒方宏光 さん

住所：福岡県大川市大字鐘ヶ江5717
TEL：094418710655



店舗外観

今月の夢追い人は、Nico..L Hair(ニコルヘア)の緒方宏光さんにお話を伺いました。

「2007年の11月に現在の場所創業し、16年目になりました。現在は3名で美容に関する事を手掛けています。美容業界では珍しく男性と女性のお客様の割合に大きな差はありません。年齢層も30代から40代を中心に、20代から40代までで8割を占めています」

それでは、緒方さんにこの業界に入るきっかけをお伺いしました。

「高校は進学校に通っていましたが、勉強についていけず、

勉強から逃げ出したかったんですよね。そうなる何か手に職をつけなくてはいけないと思い、無謀にもマンガ家も目指したりとか、元々デザインに関する仕事があった気持ちはありましたが、いざ進路を考えてみると本当にやりたい事なのか？と決めきれませんでした。そんな頃に、友達が美容学校の体験入学に行くと言うので付いて行くことになり、体験会で見た映像に心を打たれ、カリスマ美容師ブームもあり、この業界もいかなというぐらいの軽い気持ちで進路を決定し、そのことを伝えると、親や親戚からは猛反対をされましたよね。身内に美容師、美容師がいたしたので厳しい世界だと知っ

ていましたし、適当に学校に行っていた事とか、私の飽きっぽい性格をわかっての事だったと思います。でも、それが逆に火をつけました。今まで逃げてきた人生でしたので一つでも人に勝ちたい。仕事だけはちゃんとしようと腹をくくったことがこの業界に入るきっかけとなりましたね」

美容業界に入ると決めた緒方さん。独立するまでの間は特に頑張られたそうです。

「正直、専門学校での2年間で就職してからの8年間はほぼ仕事以外は考えてないくらい頑張りました。実は私は元々左利きで、ハサミを右で扱えるようにする事から始まり、ずっと練習の日々でした。





店内の様子



カフェ風な待合カウンター

現在では、左利き用のハサミも豊富にあります。当時はそれも少なく、右に矯正することから始まりました。その時点で同期のみんなとは差があったので、みんなが帰ってから学校に残って練習をしていました。挫折しそうになりましたけど、いつの間にか没頭して、何かに打ち込むという大切さ、目に見えて出来ることが増えていくことに楽しさを感じていました。その日々が今の私の原点だと思います」

接客をするにあたっていつも心掛けている点についても

お伺いしました。

「技術の面では出来て当たり前前の部分が大いなので、日々の努力はもちろんですが、特に情報を仕入れることを心掛けています。まずは技術に関することや髪に関する事、流行やトレンドに関すること、何でも情報を持つておくことです。現在では、SNSやインターネットで情報をすぐ得られる時代になりました。様々な年齢層や業種で働いている方など、そのお客様に合わせた情報を発信する立場だとも思っていますので、今後もそういった情報を得る努力をすることに気を付けて

います。接客の面では、お客様が思っていることを聞き出すこと、なるべく言いたいことを聞き出すことも心掛けています。気になる箇所があってもすべてを話してもらえお客様ばかりではありません。そのお客様が求めていることを会話の端々から感じ取らないといけません。お客様への手を止めて一旦離れて見て、お客様の仕草でも感じるようにしていますし、いろいろな角度からお客様を見るようにしていますね」

緒方さんが携わっている美容業界も時代に合わせて変化をしないといけないと話されました。

「サービス業は常にお客様に選んでもらう側です。その中でいかにサービスや質、価格、店舗の雰囲気やスタッフのスキルなど様々な面で競合と差別化を図り、選んでもらうことができるのか？もうそれはコツコツと情報を発信していくしかないですね。ありがたいことに今でもお客様からの紹介をいただくのですが、最近SNS等からの問い合わせも多くなってきました。私が出職した頃は、宣伝はお店がするのが当たり前でしたが、今では気軽に情報を発信

できることもあり、スタッフが個人で発信しそれにブランドがつくという現象がおきています。今風に言うところのフォロワーですね。お店のブランドと言ふよりはこの人のサービスを受けた人とスタッフ個人のブランド力でお客様がその技術者を選ぶようになってきました。その流れでお店がどうスタッフ個人のブランド力をサポートできるかが鍵になると考えています。そのため

にも、スタッフ個人のブランド力をも高めるための働きやすい環境づくりが大事だと考えています。いろいろな業種で働き方改革が行われており、うちでも少しずつ取り組んでいます。例えば、スタッフの昼休みを確保するために12時から1時間はなるべく予約は入れないようにしています。また、月に何日かは営業時間を15時までの営業日を作ったりとスタッフの待遇を改善する努力をしています。昨年度には小規模事業者持続化補助金を利用して、空調を見直すことができましたし、段々スタッフが働きやすい環境が整ってきていると感じています。事業計画書を作成していく中でも、お店としても私個人としても目標を再認識できましたね」

スタッフの働きやすい環境を整えている緒方さん。そんな緒方さんの夢をお伺いしました。

「ずばり働き手に選んでもらえるお店作りです。私がこの業界に飛び込んだ頃は、休みの時も練習したりしていましたが、自分のスキルを磨き上げる事しか考えてなかったの、ワークライフバランスなんてことは考えた事ありませんでした。でも今はそうではありません。自分達の若い時は：なんて話をすると煙たがられてしまいます。良いことは残し、古い考えは捨て、価値観や考え方も柔軟に合わせていかなければならないと思います。今月から新しく高校卒業したばかりの美容師を採用するのですがその方もInstagramを見てからの問合せでした。職場探しにもSNSが使われているのにも時代の流れを感じます。教育の面でもレッスン時間を営業後の時間で練習するのではなく、営業中にも工夫してできるような時間を組んでいきたいです。日々待遇の改善を目指して、スタッフに選んでもらえるお店づくりをしていきたいです」